

Q

二学期制の一斉導入について

A

子どものよさを生かす教育活動

金泉婦貴子 議員

質問一 現在二学期制を実施している学校の検証、評価は。

二 二学期制の推進について。

ア 平成16年度の実施からいままですべての学校で実施できなかったわけは。

イ 地域、保護者への情報提供はしたか。

三 保護者の声に対する対応は。新学習指導要領との関連は。

答弁一(教育委員長) 年間行事のバランスがよくなり、児童生徒への負担が軽減され、児童生徒のよさをさらに生かした教育活動が展開可能となった。

二ア 学校、学校協議会、保護者などの自主性、主体性を尊重したと二学期制のメリットを分析できなかったことなど。

イ 二学期制研究委員会だよりを



保護者へ配布。今年度は、二学期制説明会を実施し、保護者や市民に説明した。

三 説明会後も教育委員会に質問があったが、ご理解とご協力をいただけるよう説明していく。

四 増加した授業時数やゆとりある指導計画など二学期制導入のよさを生かしながら新学習指導要領への移行に取り組む。

◎その他の質問 ケヤキ並木の対策について

Q

圏央鶴ヶ島IC周辺の地域づくり

A

さらにイメージを膨らませていく

近藤 英基 議員

質問 圏央鶴ヶ島インターチェンジ周辺には、豊かな緑と田園地帯が広がっており、その中に埼玉県農業大学校、埼玉県農林総合研究センター園芸研究所鶴ヶ島試験地と、約40軒の県施設がある。

インター周辺の整備は鶴ヶ島市にとどまらず、近隣市町の将来にも大きな影響を及ぼすとの意見もあり、インター周辺の整備は重要である。

市長の思いや将来像を伺う。

答弁(市長) インター周辺の地域が高いポテンシャル、つまり潜在能力を有する地域であると認識している。

昨年7月に埼玉県に要望書を提

出したところ、平成21年度新規事業として農業大学の移転の可能性を調査する予算等が県議会に上程された。

移転可能となれば、その後の土地利用については、地元自治体として、鶴ヶ島市の意向を反映させていだけるよう要望しなければいけない。

今後、地域住民や市民、議会と意見を交換しつつ、専門家の意見も聞きながら、さらにイメージを膨らませていく。



圏央鶴ヶ島インターチェンジ